

大阪電球バルブ製造組合ト勞動組合總聯合ノ  
大阪電球硝子産業委員會

(一) 大阪バルブ業者

大阪ニ於ケル電球バルブ製造業者ハ現在自家用ノミヲ製造セル  
大日本電業株式會社ヲ除外シテ

楠瀬 三郎 家庭 球	一日製造能力	三〇、〇〇〇—三五、〇〇〇
五藤切之助		二〇、〇〇〇
山本 作治		一七、〇〇〇—一八、〇〇〇
伊澤 秋一		一五、〇〇〇
越田 貫一		一二、〇〇〇
山田 政司	豆球、裝飾球 自動車球	四、〇〇〇
計 六 人		九八、〇〇〇—一〇四、〇〇〇

デアツテ、主トシテ大阪市ニ於ケル電球會社ニ納付シ、一部ハ  
姫路、名古屋ニ振出し、尙天津、上海方面ニモ若干輸出シテ居

(二) 大阪バルブ製造組合ノ成立

之等ノバルブ業者ハカノ爲替低落以後電球業者ガ輸出増加ノ爲  
逐次繁忙ニ赴キ、遂ニハ各工場ハ競ツテ工場擴張ヲ行ヒタル結  
果トシテ<sup>バルブ業者モ</sup>工場擴張ヲ行フノ已ムナキニ至ツタ、コノバルブ  
業者ノ工場擴張ハ融資能力僅少ナル爲殆ンド手一杯ノ資力ヲ用  
ヒタル形勢ガアリ而モカカル擴張ヲ行ヒタルコトハ前途尙好況  
ヲ持續スルモノト豫想シテ居ツタガ故デアル、然ルニ昭和八年  
三月ニ入りテ俄然注文ハ減少シ製造能力ヲ増大シタル電球業者  
ハココニ亂賣戰ヲ演ズルニ至ツタ、ソノ結果ハ採算上材料品等  
ノ値下ヲ計リバルブ業者ニ對シテモ値下ヲ要求シタ、電球業者  
ヨリ常ニ資金ノ融通ヲ受クル等密接ナル關係ニ立テタルバルブ業  
者ハココノ要求ニ對シテ飽ク迄反對シ得ザルコトデアリ、バルブ  
業者自身トシテモ曩ニ工場擴張ヲ計リ苦境ニ陥レルヲ以テ値下